

(学年) 1年次、(教科・科目) 国語科・現代の国語

一斉学習

(単元) 意見を述べる 「無痛化する社会のゆくえ」

(本時のねらい)

- ①文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。
- ②文章の論理の展開に沿って、筆者の意見を的確に理解して内容を説明する。

(ICT活用方法)

電子黒板にデジタル教科書を投影し、本文のキーセンテンスに傍線を引く。

本文の指示語について、生徒が各自ノートにまとめた後、デジタル教科書で本文の該当箇所を指し示す。プレゼンテーションソフトを使用し、抜き出した該当箇所を解答の形に直す手順を説明する。

(本時の展開)

| 時間 | 学習活動 | 指導事項 | ICT活用方法 |
|------------|--|--|---|
| 導入 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返り ・「無痛化」とは何かを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、「無痛化」とは何かを確認させる。 ・二つの特徴を押さえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を投影し、前時傍線を引いた箇所を指し示す。 |
| 展開 35分 | <ul style="list-style-type: none"> ・本文の第二段落を読む。 ・第二段落の内容をまとめる。 ・「無痛文明」と指示語「これ」に傍線を引き、それぞれ内容を60字程度でまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本文の展開の説明文の空欄箇所に本文の語句を入れさせる。 ・本文の中で語句に関係する箇所に傍線を引かせる。 ・傍線を60字程度でまとめさせる。まず、抜き出した箇所をつなぎ合わせる。字数に合うように二重傍線で消したり、「く」を使って補足させたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書で該当箇所に傍線を引く。 ・プレゼンテーションソフトで抜き出した該当箇所を示し、解答に合うよう必要箇所を示したり、文章として形を整えたりする過程を表す。 |
| まとめ 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・何度も出てくる語句や本文が進むごとに指示語が変わっていく過程を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・評論文では重要な語句が、言い換えを用いながら何度も出てくることや接続詞に注意しながら文章の展開を確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書で本文を確認する。 |

(授業の様子)



デジタル教科書で本文の傍線箇所を確認する。

これまでは口頭で傍線箇所を指示することが多かったが、教科書を投影することで指示する箇所を生徒自身が目視で確認することができるようになった。



プレゼンテーションソフトを使用して本文の抜き出し箇所を投影する。

生徒は説明する語句に関連する箇所についてなんとなく傍線を引くことができるが、傍線箇所を集めて文として形を整えることに苦手意識をもっている。記述式問題ができないと思込んでいる生徒も多い。そこで、記述式問題について①関連する文章に傍線を引く②傍線部分を抜き出す③文章をつなぎ合わせる、という過程を見せ、生徒自身がどの段階までできるのかを判断させることで、自分が躓いている箇所に気づくことができたようだ。

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

読解についての説明をする際に教科書の該当箇所を板書すると時間がかかり、どの部分を抜き出しているのかぱっと見ただけではわかりにくいこともあった。しかし、教員がデジタル教科書を用いて指示部分を提示することで生徒は確認がしやすいようであった。

プレゼンテーションソフトを利用して本文の該当箇所を提示し、電子黒板に書き込みを行う行為は記述式問題に取り組む際に下書きする手順と同じである。手元をのぞき込むように解答の作り方を見せることで生徒は取組方を理解したようであった。

今後は生徒が取り組んだ解答をデジタルデータとして提出させてその場で添削したり、解答をグループで共有して検討したりしたい。解答について話し合う過程で問いに対して求められるものは何か、接続助詞の使い方や因果関係を明確にして述べるなどの効果的な文章の組立て方を身につけさせたい。